

ヒト由来NADキナーゼ（触媒ドメイン）、組換え

Cat. No. NATE-1670

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 NADキナーゼは、ATPからNAD⁺へのリン酸基の転送を触媒し、NADP⁺を生成します。NADP⁺はその還元型で生合成反応の電子供与体として機能します。NADP⁺は代謝において不可欠な補酵素であり、脂肪酸生合成などの生合成プロセスに還元力を提供します。

別名 NADK; ポリ (P) /ATP NADキナーゼ; EC 2.7.1.23

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	液体
製剤化	20% グリセロールを含む pH 8 の 20 mM トリス中の 2 mg/mL 溶液。
EC番号	EC 2.7.1.23
分子量	~42 kDa (monomer). Human NAD kinase (aa 64-446) is fused at the N-terminus to a His-tag.
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	> 2U/mg タンパク質
濃度	1 mg/ml
単位定義	1ユニットは、1分あたり1μmolのNADPを合成する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

再構成 遠心分離によって作業用アリコットを準備し、ペレットを50 mM Tris-HCl pH 7.5、150 mM 塩化ナトリウムおよび1 mM DTTに溶解します。

保管・発送情報

保存方法 アリコットを準備し、-20°Cで保存してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。